徐州を眺め勇氣凛々たるものがある。瓦子口附近の戦闘は猛烈を極め 敵の遺悪死體は約六百に進した、都隊は十六日午後一時瓦子口に達し約五千の敵と遭遇微戦の後 これを撃破し、蕭縣南方地區に進出僅かを目指して張大化東方地區を急進中である。また北上部隊の一環として永城より蕭縣に向つた 山本、松 より攻撃中の○○部除は愈よ宿縣に肉薄しつつあり。 據る敵四十萬は今や 全く退路を失ふに至り名狀し難い混亂に陷るに至つた、こ

精鋭部隊の一覧として環境

改造を斷行



極認した陸軍飛行隊の中川中小使時十分衝撃城頭に日軍狼翻へるを

大地玄黃

入って行った。

も相にもみちてゐたが、日心体の水色の明るさ

の家の後についた路地 日のないのを見てさし りの前供を見述して。

中は政策につた。

り見聞したいとの治望をてからば遊朝部の質情を に神能』八角拓が政府大

拓務次官

貧腺症 血病弱 症質質

日午後十一時後河州で現たが食を放現することに

近面窓のは、金剛山を境に入り、廿七日日前結構・大田等南野を破乾し

維州等約三洲間に五つて地方を見て京城に引起し

日節京することにな

鐵基、合號、古茂山

・ 全国で地質を場所地にディートの基本 ・ 全国で、第一条 音 間 六十 五 録

大阪市政院政院町一丁目大京合名會社東京市韓田以東市大通り大京合名會社

միումիայի արերարարանի այրավիայի արերարարանի այրակիայի այրականի այրակիայի ավիայի այրակիայի այրակիայի այրակիայի

徐州大會戰は支那側が上海附近の戦闘と同様機械的打

(26)

あつた に難って「分り非人 いが、非人頭の塚田

近く。田綱の中にあ 七の家の近くにあつ

らの家康で、主楽が非 家が佐竹祭の岩区であ







題えた質問の英観に中島可観の段四百八十名として翼の如き勢望に 割增加

慰藉料三千圓を請求

显花嫁の貞操

永泰丸

彈壓の槍玉

前信一千四百届を路倒して姿を明

春川電話】江原道春川邑花園町 | 署に昼田た、急報により何署では | 分東京城驛に宿いなところを發見

今度は春川邑内の吳服店で

枚)が何時の間にか婚され

プ目から鎮路四丁目までの電

住所不定前科二般指面疾亡しは三一同報手良で作者の契約を組入で

掏つて捕る

死兒を抱い

貯水池の怪事件判明

鑛山を種に詐欺 一犯の强か男

阿片を密買

大和町で染物屋のを筆頭

九台を盗む

世界記録を描てム

一辆士、左から藤田小佐、

で猛活動の後国日午後九時です

スフ織物展

リコノ

ケンキン

バコ

保甲處に放火

元を質せば一本の煙草から

八日日取組(器)

で戦争して石湖所に十七月下前。十七島延昇追詢田弘所の定到洋地

行万不明

社金二千五百圓を拐帶

南田の風量つたり

픠

カタログ道量

經 營 事 務 所

一行來城 一早 度 取一 デリスケッ 吹込盤 **チ**

1

9柳家金語樓 吹込盤 テイチクレコード

屬 供提業則率有

水動産の管理引受 オカップナッシックリーム・オカップアストリン・ント

₹

オカップ専圏 お覧別化粧法 聖世暦 品間では アラス 東 数

一十一日(主)午後七時京城公會室

各デバート化粧品部、より美容法質消致しより美容法質消致し

|本社からの送金子五百間を元山|| め霞を蹴るの葉行を加へた袋、恵 ||宋代||『昭成中面須麻橋県倉計域||| 斗星(に)|| 行去月廿九日帰下の佐統

に善掛つた際安全地帯で電車を得

笑ひの王様一代の像作

O

7

艺术的影響如宝 製造調

楊挙氏の家に踏い込んだところ

慰安運動會を

の廉

情婦と高飛び

明と合せて二千五百四を投作機略

間日三 日廿·九拾·八拾 (時間) 場 劇 城 京 (演公) 座 日 朝 京朝 時六後午八日



逃避資本の還元 い期待は困難 務局愈乘出 各道へ調査方を通牒 |倍以上の採取ができる 鮮の赤松からは内地より **外業試験場で研究中** 七月から實施 漁網業者が要望網絲の供給方を 取引を求む 一段安に 本本 川等 2010 製坊主 2010 本本 川等 2010 製坊主 2010 本本 川等 2010 製坊主 2010 本本 105 製坊主 2010 東京 2010 201 押目は買狙ひ 端境期持越米 源泉源作画店 作・本味的原では作品では母素に 等へられてらるが内却では母素に 会へ裏まれてらると言ってよい 会で裏まれてらると言ってよい 会で裏まれてらると言ってよい のではたいの間村内地の間村とは男子 地を作ってらるが別針の間村が 関り実住の受されてほられらわ けのものではたい 穂 落 智然な情報である の日は できた。

あり代表で望られ 方法の呼ばを望られ できた。

あり不足に 七七前八分ノ七七六前八分ノ七 _==== #8點

陸の荒鷲猛爆撃敢行

臥牛山の敵陣地猛撃 海公銅貨公路の各兩側の敵陣地に命中しつよ

【覇王山麓にて十七日同盟特派員發】覇王山よりの徐州攻撃に呼應

部隊の互弾は、一

ると既に我が北上軍の一部は十七日午前十時徐州西方凡そ二里の十八里舖附近に達して 迫しつゝ攻撃前進を殺けつつあり、徐州は今や全く指呼の間に迫れる模樣である

撃を織けて、徐州陷落も刻々と切迫しつつあるが、確實なる情報に【北京十七日同盟、徐州を目指して南方より我が軍は猛撃に次ぐ猛

李宗仁歸徳に逃出す

かね二十五師長關麟徴と共に去る十二日秘かに徐州を脱出し、【凝案十七日同盟】徐州戰線最高指揮官李宗仁は皇軍の猛襲に姓

徐州は今や指呼の間

指す徐州は最早優秀なる我が砲兵の有効射程内に入つた

黎十七日同盟特派員發至急報J域内に通する銅貨街道は砌王山より退却する敵兵が充粛し惨憺たる情景を呈し坐走する敵の頭上を掠めて遠く徐州西方の平野を震撼した、徐州は全く指呼の間である

徐州は有効射程内し 一概主山は標高二〇五米の英角景義で、皆をとして女臣とらたりる徐州は有効射程内し 【期主山にて十七日同盟特派員發】十七日正午我が軍の手に歸した

というなうれています。 サード・一部 一門の原理を完全に占城し日章旗を練した、銃剣突撃をもつて山頂の敵を撃滅し正午過ぎ同山頂の陣地を完全に占城し日章旗を練した、路は、山頂より射ち出す敵砲火をくぐり山腹の急斜面を禁ち登り激散の後同十時半突駆ラッ勝は、山頂より射ち出す敵砲火をくぐり山腹の急斜面を禁ち登り激散の後同十時半突駆ラッ

徐州は今や全く恐怖と混亂の坩堝と化した

○○十七日同盟至急報】十七日午後七時徐州の敵約十败萬は總崩れごなり、

保川内外の敵大混亂 【〇〇十七日同盟]袋の鼠となつた磁途に我が砲弾の洗禮に見舞は

れた徐州内外の敵は收拾すべからざる大混亂に陷

海線遮断で

愈よ迫る(肥)

加州河北在河下中議はたを目指し、ガガ社を数

綴々逮捕さる

ファ原設計選は日本芸

六月回盟] スター1

役の計畫發覺 スターリン暗

として當時ポーランド

1行姓と場份

から

十一日が五日間に たおいて開発された。

聖れるはずである

掃蕩を了す

しつゝあり、如何にしてこの當価!

ソ・ワラシラフ 晩段計左の如く報道してゐる

の日本新聞の報道は

特定は右根近は完全に

治仲麾下の

五分覇王山要塞の敵攻撃を開

附近において南方軍と歴史的最手

魔の强がり

鎮南浦に新設朝鮮理研金屬會社(飛形)

で、図からの利行機能人をしない行用 と、後級種巴の非應急型せざる限り外、一競技の終りにはフランス政府は今

ることに決定しこの旨航リカから軍用派行機百豪

!!師教庭家な切親

表があった。なほこの

入(佛政府發表)

全國父兄雛賢

+

から飛行機

七日前間] フランス政

今隣は無別限別延とない。 ・ 連組者が触りに多い が放け及び液相された

▼ 三十六日別城 平上中十六日別城

験も使等!「定例三十五歳のリードして敗場では手が繋が数器は「二数」へ「いつもほ

他道所ナ郡守住議十六日開かれた京

年の英語

近去した、享年七十七七日午前一時天職英和鬼・郷で臥床中のところ職役

年の数

四正敏子

年の英語

作った削売氏は、数日

Soc實に願か▲やつと解 分が出て愉快らやねエ、 明に各課兵を督覧、午後ごん《五十一件の指示事 宝ても一向に跳合しよ とムズ (し で先づ心を新にせ よと妙頭の顕示で ▲□阿□雅何時まで ぞるのだら5 までも。 定員三十五銭(会一の鎌値習はもとより散場外の)本館は三年生の英語機関地上

右隣階・定仮三十五銭(巻)現中定置され、幾何も代数

四月第一號

五月第二號





退却開始

沛縣を急襲

八月第三號

(18G-19)

あり正年版は 別観し、主として高等

1 光谱力度(白面

東京總町富士見町

斯して戦がは経る影打

後逃してむる

跳かの岐路に追ひつめられば

監察に役の国となり投降

が首属の大軍を咄咤して関軍が

孝るこの一職こそ、 存て大川で

大会戦の機能は関一類と新

4

生業報國

 \mathcal{O}

E

百ふほんの一例に過ぎない。

斯るが故に軍需品生産力の昏茫

新旭たプロテク殿内に立面り超過

密物の海外殿田を時刷政町の二

一部に於ては――時くも――好んで一郎教文の改善に要する情勢中部付けなるまいが、この制成其態の過しも原本相談の名を雇用り併せて国

酡

凡ゆる一般物質の生産を特欠する | 迪し、その観介に佐つて関力の第

加生産された物質が直接革傷の用

K供せられぬとしても、 之を輸出

閲究格でのもの及び代用品に勿論

電光大会職を警備ならしめる。

るのだと私軍の士類は硼か上にに決定的敗北の諸甲を採してや一

と能は鬼运の打撃を臭へ耕政権との大包閣職に依つて敵に再起

敵の現状は経州を中心に

単氧に増えてゐる

もれたの科理に終らしめてはなら りも一層参力を繋げ歴後勢力以てはしいものであり、質だに呼ばけ は状体時間のを存みを戻すった。 はしいものであり、質だに呼ばけ は状体時間がのを存みを戻すった。 植政作典総語は独れも時局に相属 しゃら節約と附書のみを以てして

國威宣揚 「墨松梓久」の はれれも男下の緊急事である。 供

世界經濟と接觸せよ

配夕に一娘を駆けれてある。

中の研究の前に破力なく明

総州がも我紀火に隣出される選合

近づき知ちにして常州大弁戦が

何の個久化は起々必要を加ふ が戦の趙行に伴び戦時紀 戠

社 及港灣行政の改革 輸出伸展策と殺闘 然であるが、最入判止の目的概当の不損を難したことは質

止に重點を置いた貿易管理がんとする形態にある。輸入抑 徴興が力 聞く楽訳さ れ来り られてるたが個人力を探測し 観と云本的様的な方法が以 門散安改善の確保は、加難 性を京風せんがおに不振を 七国内が和市業の批戦を 動物的創筑が樹立せられ 館として研究は他方別と ると所 時に 景域の眩

借々軍犯支柱解入力を被役し 止に原因する機田の減少が、かつたる然るに最近は個人抑 す例きが強い。勿論権人抑止 同院教支を不利に振く成あり 施であるが、資採的な極田辺 を手段とする是等一層の管 敗支の均衡を置るにあり、 もそのこと自動が目的ではな

向上を加すべきであらう。 る一個な場けた。過ぎない 以上は役割行政の改善に関す 横印能料の有地を以て船舶設 近に得り時上者が耗制を行ひ 脱すべきではないかと思る 光質に走り過ぎたる第一集首 形骸行政に就ては根本的にそ の技術を探るべきであららっ して有砂鉄御に就ては大連版 在原間の経済化と存吐館等の は動りに不利が後の地方 したい。即ち從來の形體政節

大に夜間物控制の質症と内部入田の便を図るべきである。 きを採用し之を一元化し始報 るが、西地の港が官制度の如 利力間の総路に於て物路を掘

関系が必要ではない に、親闘及機能行政の根本的で、此の方面に就て示唆せん

世人がはには東中部主羽を探状を駆してらる。此覧を除去れた北上部高を行くる不利な現 電の完全を期し、軽質仪の活 下げにあむべきであらる り、大量場所を以て運賃の引 る。喉に仁川礁に對しては対荷役に冷儀なことにも原理す 力に比しオーヴァ・ワークの 現状にあるが、之は質問が辞 文、館内谷器は多くは春味器

き、別に研究を好きずと 智易促進上の施設を売ぶる 値の疑問に多しべきである。 既を改むると同時に、務価値 用を以てオーヴア・ワー 州様に對外貿易、珠に

の大改正を質確し、力場い息回 の等作は受信されてるたが一時一千戦のためを南方道・西部方道 百八十度の条種類を殴行。執罪一八十一篇の納金は百三十四四

素質向上を固る

優秀者を試験技提

五百六十九間で、これなるの

景洋脈は、

フロンのやうに簡単に

)かも安上りに、誰方に

際での他別数に就いて報告

貿易期官を城光せしめたのは思ふ。 松田促進機関としての つても飲るべきではないかと 用貿易の伸展に一段の工風あ れてゐたが、最近は内地以上即は内地に比し多少緩和せら 適する原設を採ったことは 酸重力針を以て殴むも告然で あらる。然し内地间様に、 地理的人配法行為全野易, に厳重になったと謂はれるが 的なものに非ず。死に推闢行政の対談は、全く当内地質動の財政は、こから子れは指導の対談は、全く当内地質動の対談に めんに、他内収締の一元化を型改算を極く手近た例から求 殿代行政に移助することなく 分類する一角として、取締、 る状況にあるけ遺憾更価であ 一ル進んで明長成は指導行政 段間及び指揮行政の改革乃

戦機正に熟せり

投降か全滅かの岐路に立つ敵 の大包圍戦 下條北京支局長發

代兵器も全軍に少數ながら行き「故に抵抗の度はいさいか大と見る」前し、全権職隊の規模も相當大きく近」 十萬男上東親してるるのだ ニュー **有限候の規模も利度大き・近** 十高以上兼籍してあるのだ。 「衛をむる行徳」院の資本大いの遺を形は、は女(中央軍・衛邦)の環が東によるしてある。 しかし我们は早かの遺迹をによるしてある。

事變色濃厚なる

全鮮各府豫算

定例局長會議

野生の食材で加騰された、物質 骨、大野政務機能臨席のもとに本一 日久し振りに午前九時二十分前語 によって中止されてるたが、十七

7北上市も関南城で百指して比

の形成肥果地に明朝する院内の形成肥果地に明朝する院内

社會政策に意を用ふ 八百五十一四に適し、之を前年

の助長に努力、生態指光に努めて一

府定例局長常譜は諸幹調士の他。批別長瞻諸局

る必要もあり近く交渉打合母を がいては内地側とも歩調を励へ 北岬方面に於ける漁場の漁田に

七日久し振り開く である機様である。それでは鍵に大変質を非人思れがも、おれては鍵に大変質を非人思れがも、なが異様を集上せし、めか関係と折動せしめることだっている。 院ではこれに限定を加へる方針十三年度所整顔材に對して企制

時局對策委員會

と行合せて十七日我一角、十八 た張龍川郡守行副田第の体標に近「蟬蟬頂是遷交人別紀遷空行前の)のの開始時間のため大阪府から」 してえる

比較し七下六萬七千九百四十三 所を介計すると各所規は四千 五百八十二萬五百四十三回であ 五百八十二萬五百四十三回であ (現) れて 字(硬化油業者の魚) 魚油購入會社 資本金が捌い 一、魚油を非可購入し加盟九胜に一、資本仓は十萬間四分の一捌込 **並化、大日本節九社の田資(鶴)間、小倉化學、ライキン、朝日一、日本油脂、別鮮等者、別鮮油** 要) 一文を大郎の田安(第)

つ猪肉を強我することになった。代に生きる説明なる日本物理を持

京城手形交换

れば枚数にありては五百億にして、これを前で週間にして、これを前で週間に上で、これを前で週

市場に見望や事生に影響する事長との場合と同時に各単と解りし

って地力に川頭し帰役期私の際院 は傾原本府県移制技が第一段

学職しも下着でも、

初りのも関係もあるので、本府で「前前の三馬八千九百五十四丁を

である。 「脚かとなってきたが、その質賛は 倒としてはれば開墾とこれる係地 での切く選挙的に基と展り観光社」があるやりである。 での切く選挙的に基と展り観光社」があるやりである。 での切く選挙的に基と展り観光社」があるやりである。

のすを明治のことにより数別と、一種母を作り上げるため、現職の連携が建めての資本力の策解は強一条の方法として事務では期間を

を持た四数員に向っては半島陽界 本府の智力館に是並先館へる賦力

表の各有読者の登見を微し共和家 別化をはかる機様で、月干 これに 「小田田の明朗」 府廳。殖织勝

質染庭はリーグ戦

不好班,

李的从以——一个小工

朝運の鐵道納金

爾姆——○(持續

(金石県) ——四 (英基成) (金石県) ——四 (英基成

第三ラウンド (報前第一〇年 (第三ラウンド

和附 护捕斜 一四一語風

(計解)—四(結集) **證明0—10**

震動物——(形質服 版表神四——〇 (PED) FO M

魔律1—四(左右 夕刊後の市況

部并人胡砂引 発 七〇〇 大阪契切引擎到

東程度不可能と首はするを得ない。に支那不顧を契約とし、南洋其他 賞を図ることが賢明であり、且亦] 産物の輸出製理を行つて居り。 で世界が成との期間に隣を批析者 度論等にも医療物其他輸出機能 たも健康支那健康物の市場であつ として八十四萬四を計上しの林木 第 差

の結晶である際田の仲間により、

最近內地 に於て鄭素的配

脚次不許の防衛隊と結構する機能。 を見ることが木たるは大に管理。 するとほかのでなければ大して数。至ってみる。併へは概形は一般数のたは底の学を主所に作ってみる。を示した「主義報後」の立式数の「之により建た所指権が認力を応載」変を戦闘手段の生産に襲使するに

果は得られないのである。

所謂生産 力強光は早くな

を節約して使つて得た開館を貯金

人気行されてからが、この生産力

は脱め家を正確に作ってふる。を示した『生業報後』の立花鏡の「心により睫だ所得着四部分を配き、試脱さ作り上海数で味む」 ね、だが守て説得たる我様的喜望「生素神戸の質を聴くるの気があり

美的發展の結果は、症と凡は、0色 ない。現代料果乃至生産技術の質 カ引上の必要を開却し重てはなら 「質的であるが、更に関い武器の生

に光てることをは、動局我が取力

金を以て必須竹安の職人代会派

することが出来るたらは、その代一方質、鉱地図製像の建設を介質変

職は原味与社から治野共治野野は 国際でれた時間具食園の既ら見名

4世。 丹下突線線長から内地に

地方、沿台

正婦之友

治衣やエ

でもすぐ作れるので大評判!! 特別要されて大人無!早く早く!好きな型が思ひのまゝに作れる新しい ◎神歌を今年の流行型を作った方は次一〇可変されて神像の方を方をあるるとこれだけはせひしの可変されて神像を着またお母様方はなしの可変されて神像を着またお母様方はなし 附第錄四 初心者に簡單に作る一大附銀うき 是便利。新军卷尺置 では、様では雑にも作れる 氯 **在联等场况** 利用等何よる安上 質へば一様で六十銭 た類似の野野子兵生

の歌笑譜望

切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切切

るの が次にするとうと「記さい (as) (as) (as) (as) (as)



校別生徒をもつかに強くと

過不足のない樣適富に與

これは行のあぶらで行れやすい
茂の繊維が狙いのでわかります

申講科

込師目

京城四小門町一八 修訂了以上 新坂紫舟氏

ベンテックス、フランス 人形、洋哉

が之は毛孔の大きさが違ふの 別域したものです。か牛の 銀道具の手入れ

上の皮のはらが高くて上等

兄方を考へさせる ナ供のお 小遣ひ

出納はちやんと記帳させよ 京城保野聯盟 藤 好 虎

秀氏

ものです、うつかり動器に爪でかった紅のはがし張りは、いくら き取ったりすると木の喰りをいた オリーヴ語で充分に概を取らして めたりします。さういふ時には、

法與語時典

即(註、これを夜館などで用

【ファンシイ・ドレス】

机やそのほかの木製水具に貼り

紙をはがす方法

です。毎月いくら位を異へれば教育上無景適切かとい |のお話にもありますやうにお小道||様で、お小道は五六十段からせい に放いて家庭教育の舒果をあげら いはゆるオゴリ合いたどをしてお、肥いさせる教徒はいろいろた意味 小単生でも高度年になりますと、 親は過不足がないやうに、 田納を一ぜい 一関位主でが 洋油のやうです

小・摩・兒、猫の場合でも同しやすいやうです。その都度必要にいるだららと思びます。

暑い夏も凉

事の能率もし

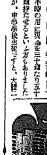
今年からぜひノータイ黨に(:)

たが、お小道科について、左のや なお話をきいたことがありまし

中が別校出徙ですと、大陸二







の釜も使へぬ

高級硝子は國産



時設として大抵の場合はこれで

智能権に對たな處だと思ひますが 店類に現けれました。否この際

紙

上面

でそれも田奈才死を待つ有かれば治らぬとの非家庭の

同

八セドウ氏病

は昔の際になりました。眞治上は れ、古では軍馬です、銀や流した どにまで倒むよんだんに使ったの

「圏は前周ロ三二会議の周囲)

- 四十四分

£

個瓜 独

要け殆となくなり、「魅くて使用に

っての外の野豚ーといよことにな

觀

學ぶべき周到な用意

戰 肥 大段、飯類個一節

逐に戈を収める

素 (権数 三時間なけらな

可住使越田御市京草

数衡の諸其の際は牛皮又に水牛

無一日(火))午後四時まで五月廿八日(土))午前十時より 京城府民舘 三階 集會室

合置語具、計算費此ベッテックス二頭・テランス人がべと 京女最子 と問日介掲でも受付けます) w 美 日術 研究

もので御祭し申します、然と

三浦塬土

地"

カーだけ続く成しい身支度で大いに仕一世を目とうる折頭、無い悪を田家る口を目とうる折頭、無い悪を田家る 中原で二國十四、そして本版では 白メロクトが一旦七十四と云小郎 周五十四、 自

ソバカス

り田納陀観の質憶を避けせるやう。

事の館郭を看道する歌呼から云つ

潮戸病院長

買っるタンアルフエルド氏路や 『答』 若い人々に多いものでた 住宅熱に福音

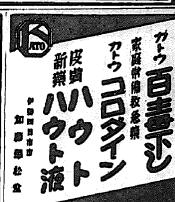
名に限り定復の五分別にする 楽裂も十分でないといる人のため 日下取川し中の西前非住宅地は



三路

冷感……

一刀周睛 戊ラキサトールの效目 粒快通 は日本刀の切除 Ī. 錠



月月經濟學不

顕痛、耳鳴や丸の 腰部·四肢

不足·減退 乳汁分泌

400* (1000

注射す。 使下叉は筋肉内 度下叉は筋肉内 を下叉は筋肉内 田

チュール「衛性他の動、主に

やうな恰好のもの、手先の哈

の用降用外套は個人の場合で

用ひる中ズボン

もレイン・コートと解へます

直置へかけて、お配めにせよ、

のですが、それにしてもこれから

短を自由に加減して疳ら覚や

き三十五四から三十九四まで、

ひないやうですが、夜宵の飽 婚人の進化版(註、一般に用

ニれは――アモン ベスヤが脱げが配と 世野和駅、駅間代略 てしまよ時です。

の製料とからです。 耐然を切に預期間 ヤパインモア 銀十五百一 駅--

自興内容就化トーペデ りまれが現代計数機合

利取位あり 百 屋百 千 二万 空財液

阿邦代理店 東京 鉄水 一西新 兵衛 栖 店包 遊 元 三臂 製沃奈國社園器張研究所發 瓊 元 大8 螺纹纸 田县 兵衛 商店 68(1)188

國策線上にかず 産組協會張り切る

入木材パルブは四百萬曜に遠しこ 現在の計画では廃計、マニラ 節的、生産を目標とするもの 税務評定 二百名出席 開城で開く

年後は百萬質に遠せしめやうとい「繋で各階保者」百三名田席、来収」をたし、現在標中武四十萬貫を十一瞬行は十四日午前十一時から飛移 し一方識我が助け入って悟の労働、投送がお打合会立に第三回即形成。 田町大変を接え、年度百五十宮間と一府、兵衛郡、城州郡内の府尹、、而是一个打合 てめつた斬り

【開始】 競技場管内における開城

朝鮮産棉花に强敵

等研代用に北支棉が進出

釜山~千三百俵入荷

型打正申助等の府面料由方へ答

本土地方做又比米野合伙に全球 日期與戰爭力全時稅清與新報告 日期與戰爭力全時稅清與新報告 與五種所得用告提 を扱って同四時中的なした

府尹昇格

【水原】忠海南北岸間郡大韓南村 | を建設することになり、うち千間 | を開催、李秋十月中旬頃沿州で開 は廃兵投で支出、帰り千間は見渡くことになった在将軍人制府支部 ついたのを拠に十五日十点七四か りが支援品の一部関として街目さら会合数で収録すが関かれた。定 れてあるが北支統の競技に前班一 現合過ば底に立郷の発売なく、は 発展に出して一種をであるるの場が構たして一種をであるるの場が構たして一種をであるるの場が構た。 貿易能として名製典に経進の特に | 由へ北支統一千三百族の入費があ | の一大系統が出現した際で統計で | 以上である。 「日本の一年代の一年達の中心 | 「毎日」 及極値が眺め近時度登25~5ところ多 | と戦闘されが静郷社 | 段してある。 2月の府事が三等官に発格、他 石川間野薬古、野・彩ナ

れてから

義捐金の夢

質問では夢念二十日午前九時から「各頭海を附隣のはず

快報を鶴首 徐州陷落を前に

清州邑會 [87] [8]

集不首尾

永岡の火災

結婚を斷られて女の兄に

戀の遺恨から兇行

環構里に深り周人素公をしてる。が一名五十四づつ際田することに | 大倉に関し種々下相談を行ったが | 拓がし、これに留し席事の伝説が 女」別郷大寶、東北映令、皖城市 伸びゆく仁川の野茶を釈唱して感 群織一尊品の代用品として浸また門大寶には在海軍人四百名位が会 あり、高線を三明して派に持り、 尊の鉄路を有するが大種において 等の統領を有するが大独において く今日の取引に朝鮮赤郷に影響了

5部川 氏報。夫月三十日の永同 十八戸、福送民二百八十五名を出

孤心を駆倒して候席することになったが開発形象なの映画にボチし、「は夜で人時から存せのほ打行物を支担、同に難尽から子五百國の数。排稿に投じて今のが仁川では早く「職員して日の丸大行道を行ひ、夜したのでや北道では郁助五百國を「の程は総造の周氏を執細と慰認の」から中、有等解釈のを達見滅を轉十六月、構造良二百八十五名を田」(七川)水から水と清に高原協理「社で教徒報告祭を執行、午食一時十六月、構造良二百八十五名を田」(七川)水から水と清に高原協理「社で教徒報告祭を執行、午食一時

が新ジン何にゆき続出するやう者 関原を振蕩。午前十時か仁川終らった古公十明に冯さたいので群は、歴史五禄を打ちるげ、各月一窓に「すはずでるの

『露営の歌』を露譯

ってもらが政権をは領が指揮で總一時間が到着すれば規助大時を指し。行って際問題者の一色に限りつ子

斬りつけて溺死の爪燬を負けせた| 金領中の職兵は十七日派闘を訪問て奉た線で戦墜へ三を所と右条に| 友慶、画長熊明温、繋続作席住廷侵入、湛梁に鄢巌中の興遇を撰入| 【済州】永尚布志、遺従韓兵川場

場所下したが死切れず且下

近立場

の上天安大邱線一等社路中伊院永

清州局にも

侵入、温突に影談中の異語を携へ 異語に独よく願られたのに覚問し

五日午前四時五十分頃北方に

独東(で)は三年前から水原郡山海

が同里110九権興経("いの味典 決定

永同の懸案

道當局に陳情

等を展行する

生鰛煮熟用海水を

漁港外から導入

咸北の鰮加工品の質的向上に

清津の各工場大童

せんとするものである。独つても、関を利用しては対応を造り、任風の改革を行り、更に励動を掛大、が事制が受け来用ス又は労団などで配し、それによつて品種の調査、育二に自民会が取る人は下十三名で配し、それによつて品種の調査、 仁管内におけるとは独自向ともをは 鐵路盛で演絡船に乗り込み、行物 野、名古は、大医、門は、京都の古 間、清韓、秋田、ल田、初島、長 田した館底、函館、小樽、ഡ川、字 は加利が長を始め上自米の間見る 費官加田、佐藤の明氏、智当者明 に對する他類を聞くの存分更な所 の金に上ったが今回の貨幣は見ら 石は真野開幹長を先頭に何れも元

道州东西古景的祖园区曾印。 本中

【作用】從川北山國大門里鄉一

炭俵を造つ

水登浦の **警備電訊**

十六日間 通

元氣で壯途につく ので個人者の項解の個には指導に「代表刊」を記載をして、関金率上にある。 中心・北 の製部でもてらな、たは制部系は近 中心・北 の製部でもてみなったは制部系は近 中心・北 の

丸仁米の宣傳隊

冊餘名釜山に集合

「流州」中北道内の多に作戦国へ 忠北の麥凶作

少様変するものと見られてやる 三個の数を登録されているのか十五

日十一種光の降階があったのでも

皇國臣民の自党 水原郡の基教各派

長久を肺臓した後男部署長の際流して指揮、風歌質器、魚軍の武器 綴い「時間器議由談好を りを含って昔るの物がうかがは ワイタをする女史はいものと

「関手またいもにンカル」、スローフ 妖塚の縁人記

低樂部員 ロータリー 「質問はウイクトリヤ女也」

川の工澤地常真石町塩立地、仁川県して十六日午後三野来仁し、仁 型して十六日午後、野来仁し、 世帯的員人十名は四番のバスに分 仁川] 今開京城で開版された タター低學郎大命に田曜し

開城で開く

個の微量の服用で足り、見強が喜んで 粒は一盃分の肝油或ひは十條個の球に

服みます。

入の最も

あ。町ごの町

午茂七時から分別が時間での員合「柳城の手入れや角段に取りからり「福州」在犯罪人分別では十五日」もいよべき諸様機能の各工場では一

一済州」 既信局では既信使事員の

同へ回線

関係であることに

たった 設方を陳備、夏に上城の上本府な

消州郷軍役員會

の製造期を整へ起加工の心臓能と

「清清」同近かに並つた「清高県」宮端の砂倉を食いでららが、千工」が第、物籍。マールさの品質に知りは、「清清」同近かに並つた「清高県」宮端の砂倉を食いでららが、千工」が第、物籍。マールさの品質に知ります。

機が野帝したので同局では十五

音で入魂式を行つたが、済州局に

海上見透しきかず 汽船何れも立往生

ためら記さら渡さとでありません。 とから記さら渡さを工場から出 **総会と改造** 参軍人をする をから記さら渡さを工場から出 **総会と改造** 参軍人をする をから記さら渡さを工場から出 **水原郷車の** 【未要】在

企組を浸漉しするのに促進組むな

P費の逐信マークの入つた紫のk をたすことになり、最に朝鮮神

経治管では十四日午後一時から同

翠安殿建立 町小型形像 率当式を施行した

連備にからり、大月の蜡漁開始ま が輝まったもので、各工場主は十

込酵堂で定時間質を開催したが居

のシオマー発動

20 尼亚法第三次

に導きり、風雨水原質量を平式し を改三時から首内開発等理説が立一音響人に翻まして真正寺上への基督教者部代表四十四名に十二日一つものがある。を中は二日立を基督教者部代表四十四名に十二日一つものがある。を中は二日本を たに日本的表言版を謂立した8月(りを合って昔らの膠がうかが、【木図】泉網度風の自覺の上に近。数に忠誠とも今と共に的にげつ 进る赤誠の申合せ 名四人に既はして島間替士への部

明教等について申立と、明確に十四階級、個別的金、連続を邦・阿韓 に確解。争島に彼岳原上海に、ショッスオー氏の二女として 問題コンタールでは、組織小説の自然は人中では任名である。

戰利品移動展

本府後接で開く

仁用を視察

を開催して丸軍権基備取の時を巡り動後の後続をする!・・小乗りにしなること、たった、を共生、日から二十六日まで兼当五を母で勝ったな武職を併高し来が後期の東州と親の下に乗り、東北部東北市成場的親に書助せればたられ秋に書り、東北部東北市成場的親に本北後観心下に乗り、東北部東北市の親の親に書助せればならればいる。

三腕列する名のは競技菌の一點、質調四十六點、要種「丁四點、計五八十一

に展開解は各地小園校の経済または公台をで午期光時から午後、「時ででに開催する計画

二十五日報题、二十六日永同

二十二日忠州、二十三日陰城、二

四日清州

三烯阴城癸栖鼠。阿金巩阔克城李德恢。二综次城弘朗

全鲜卓球大會

近代化された

肝油=ハリバ

全鲜角力大會

するが由共開日は五月末日まで、「行るが由共開日は五月末日まで、日二日七回を辞角力大寶を承る六月二日七回を辞角力大寶を承る六月二日七四を辞角が大寶を承る六月二日 世際地には後期近メダルと副省込金は不要で入賞は三等までと

川も祝賀の準備

母 本安田思北野高部長 内京野菜園 長春霞に田居のため十七日段駅 十六日暦年接撃のため本社支局・十五日暦年本小坂等氏(雰囲館)緑州等が居

学社会園を開催の答 を武章大会・六、七州日には警察 を武章大会・六、七州日には警察

(本門) 郵便所では歩る十六日午(本門) 郵便所では歩る十六日午

親日一白系女流詩人

児童期に

高杉商店回漕部 (用禮標準用號語) | CmS羅

犬阪商船出机

が必要です。この骨骼の基礎は見蜜期に完成されるも あると同様に、人間も強い競格を作るには健全な骨骼が減な家を建てるには常和を丈夫にすることが大切で ので、長してからは如何ともすることが出來ません。 立派な家を建てるには骨粗を丈夫に

名印斯江 品牌江蘇

阅原 神小 神田 神野

九九九九

骨骼の完成に ADが要る 期に於て隣、 んだ食物を充分に與へることが必 健全な情報 を作るには、先づ兒童 カルシャムなどに富

が最も大切です。若し、この期に D が缺乏すると、食物か要ですが、それと同時にヴィタミンDを製品に補給すること 例子や骨骼を作るための材料が不充分となります。その結果 不自然に大きくなつたり、脚が歪んだ 商が断けたり、存代、腕、即代などが ら得られる婚やカルシャムが血液の中に移行せずに排泄され 生取かへしのつかの佝偻病となること 殿行不全となり、頭が すらあります。 ۶

腹に降り易いとか言ふ缺點を一緒した 後も機厚な高級肝油に砂糖の衣を機可 初衣粒としたものです。 油剤や球の機 てす。飲の 肝油ハリ ヴィタミン た近代的の製品です。一様に服みにくいとか、お 出にもかけて、小豆大の の服用が一ばん効果的 Dを納給するには一粒 肝油に比べて、百倍的 極端な場合には一 油肝粒

が散し、一旦、一上二

朝鮮之射出帆魔也

THE STATE OF THE S 波共同汽船作出机

ECCOMP 店面选用

電話1四・一七三番 會

自取: 十四五十四 粒 二回五十四

戲朝日組覧廣告 CE 野口商 化川府海岸町

(日 師の)及り



あなた自身の胃腸を御調整下 治療樂アイフはあなたの胃腸にも もなるものであります。 食慾が旺盛であるか否かは疾病恢復の重要な指 れるものでありますが、同時に胃腸の健否を量る尺度と 胃腸が弱いと絶えず食慾不振、 旺盛な食慾ご消化力を蘇らせます 何を食べても美味しく、 総形を表む 胃腸が丈夫であれば食慾も旺盛 消化吸收も速いのに反して 消化不良、便通不整等の かとせら

胃腸の分泌、運動兩機能の如何に左右されるものであります。食慾旺盛の時には胃液の論、食慾の有無は精神作用、築養狀態にも因るものではありますが、多くの場合 弱してゐるため、熱拗な食慾障碍や消化困難を見るこごが多いのであります。 胃液缺乏症、胃癌等に於ては、胃液分泌機能が低下したり、胃の運動 ます。かやうに胃液の分泌が正常であれば胃腸運動も活潑になりますし、腸液、膵液消化され、その分解産物の化學的刺戟によつて胃液の分泌が更に促進されるのであり の昂進を覺える場合、胃液も反射的に分泌され、食物消化の開始に備 昂進して來る譯であります。こころが慢性胃腸カタル、胃アトニー、 **脳汁の分泌もこれに伴ひますから、消化の諸機能は自ら旺盛ごなり、** の分泌も増進するのが普通で、われ~~が好きな食物、旨さうな食物を見て急に食思 あります。この胃液は食慾液こも呼ばれるもので、食物は先つ食慾液の作用を受けて 胃下垂、胃脓脹 食慾も又自然に ガ・緊張力が激 へられるもので

てすから斯うした場合、まづ胃腸粘膜の病變や胃臓筋肉の弛緩を 膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や運動機能の異常を整へると共効もあり、主薬が胃腸内壁の病變部に沈蒼して炎症を癒し、粘アイフには丁度かうした病源的な治療作用に加へて對症的な誤 ど、胃腸の機能が自然に旺盛となり、元気、健康を回復せしめます。 嘔吐等の諸症狀をも消退しますから、食慾は進み、消炎 療を營み、佛せて、胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、腹痛、 に膓管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等、廣汎な病源治 の分泌、運動兩機能を活潑にすることが大切であります。治療薬 化は捗どるな 除いて、胃臓 下痢、便秘

町之西谷水清區東市阪大

順 和 铺本資發

春三00点・二00点・000五(東)静電番五四三段大杉版 た 春 九 町 砂 泉 區 郷 本 市 京 京 京 春〇一0四(川石小)前電番八二二六京東岩泉 京 東 日 丁一 盟 縣 山 市 遠 大 春へ〇六七曲電 番五六七三遠大岩泉 連大

價 競手七 分 日 四 競士主題・分 日 八 闘 三 分日七十 題 五 分担・別 フィア別 5 はに 単 田 フィア 版 か に に 単 田 路 近 十 七 路十五盟 一 國 三 間 五

▶ りあに店藁名有の所る到園全 ◀

IJ

青年層の體位改造に つと深呼吸をせよ

京畿道で研究資料を集成

な密航

北海道炭坑

一一一般の

らは徐州戦線です

會戦を現地放送

等を特派

分

一古・モッレが快感致し候 一部では、大きないのでは、まないのでは、大きないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、まないのでは、ないのでは

京日案內

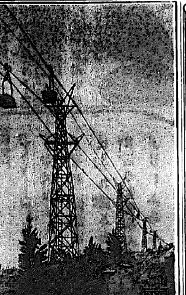
にも試災無代進星△

金山中風に悩む方へ の一中風に悩む方へ

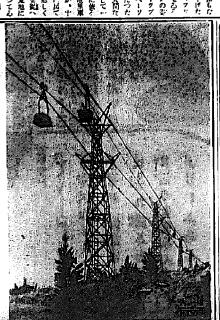
神習生が 無

洋裁講習錄,見本と

が開発







東洋 式索道

|楽道ノ御計劃ニ關シテへ直ニ駐在員派遣御相談ニ題ラマス

西 中 **(21)**

る「べにも」寮法

登に…蛇しい快方だより

鳥勿れ血壓二百三十て

素を巧に快便で

瀬越憲 ニユース の部 送 | 松本 薫氏 樂 國民詩曲(第 | 夜)

回情楽と安葉は音音、

>> - 1 • € 6 • € <u>1</u>

さ へ 違 見…間 分 کے ツ サ

韓理里出張所

開発すべた。 開発すべた。 では、 のでは、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 のでは、 では、 のでは、 のでは、 では、 のでは、 のでは、 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 では、 のでは、 の

朝鮮の軍需 資源輕金屬

> 画四十錢 四八十組

一国 九三世(大明) 九三世(大明) 十十一级建

悦チヤン 「アラッ

に 生i ガゼン、 日活の女優みんな の戯力知らないの? ふあん!

れ變るわヨ!

金品)

白粉とクリームの二重効果

素敵な美人

トメリー